

【中土佐町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1.1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校 教育」の構築のため個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が示されています。

また、本町では、第 3 次中土佐町総合振興計画の基本計画の中で、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公平に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現するため、国の掲げる「GIGA スクール構想」に基づき、1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備していくことを掲げており、児童生徒1人1人に「生きる力」を育む特色ある教育の充実を目指します。

2.GIGA 第 1 期の総括

令和元年度より順次 ICT 環境の整備を進め、小中学校に無線環境設備を整備し、令和元年から 3 年間で 490 台のタブレットを整備しました。(H31 中土佐町要覧より)

また、同年からは ICT 支援員を配置し、教職員や児童生徒の学習活動のサポートを行ってきました。

このような ICT 環境の整備を進めてきましたが、性急な環境整備を求められたことにより、校内ネットワークの不具合や同学校内で機種異なるタブレット端末を併用することになる等、ICT 教育を推進するうえで課題が判明していきました。また、教職員では、端末の操作方法等の習熟度に個人差があり、授業の交流時などに有効に活用できなかったりすることがあります。

そのため、ICT 支援員を通じての ICT 機器の活用サポートや、情報モラルや ICT 機器の活用に関する教職員研修をこれまで以上に実施し、教職員の個人差により授業での活用差ができないようにしていきます。

3.1 人 1 台端末の利活用方法

・1 人 1 台端末の積極的活用

デジタル教科書やドリル教材の活用を促進し、学習者が自分のペースで学習を進められ、個に応じた効果的な学習が可能となるように、より実践的な活用を図ります。また、学校における教職員や児童生徒の ICT 活用をサポートするため、現在5校で 1 人配置している ICT 支援員を引き続き配置し、ICT を活用した学習活動の活用機会を促進します。

・個別最適・協働的な学びの充実

教職員と児童生徒、児童生徒同士がやりとりする場面では、Classroomなどのクラウドツールを積極的に活用し、協働的な学びの充実を図ります。

・学びの保障

現在、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒に対しては、『Google meet』を用いて教室間と適応指導教室をつなぎ、授業配信を行っています。

また、『マルチメディアデイジー教科書』等音声教科書の活用促進の支援を継続していきます。

以上の取り組みを実施するためには、1人1台端末環境が必要不可欠です。情報機器及び情報端末の整備及び更新を行うことにより、1人1台端末環境を継続していきます。